

大阪市立総合医療センター 市民医学講座

入場無料
定員250名
手話通訳
あり

12月1日(土)
2018年 14:00~16:00(開場13:30)

会場／大阪市立総合医療センター

さくらホール

大阪市都島区都島本通2-13-22
大阪メトロ谷町線「都島」駅下車、2番出口から西へ徒歩3分
JR環状線「桜ノ宮」駅下車、東出口から北東へ徒歩7分

事前のお申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。

もうと知ろう！

胃がん・大腸がんのこと

- ①『胃がん・大腸がんに負けないために!
検診を受けましょう!』

大阪市立総合医療センター 消化器内科部長 根引 浩子

- ②『早期の胃がん・大腸がんは
胃カメラ・大腸カメラで治せます!』

大阪市立総合医療センター 消化器内科医長 山崎 智朗

- ③『患者さんに「優しい」、外科医にも「易しい」
胃がん・大腸がんの外科治療』

大阪市立総合医療センター 消化器外科部長 前田 清

お問い合わせ

大阪市立総合医療センター
地域医療連携センター

〒534-0021
大阪市都島区都島本通2-13-22
TEL 06-6929-1221 (代表)



胃がん・大腸がんに負けないために！ 検診を受けましょう！

消化器内科部長 根引 浩子

男性のがんの1位は胃がん、3位は大腸がん、女性のがんの2位が大腸がん、3位が胃がんです。

でも、胃がん・大腸がんは早期発見早期治療で治すことのできるがんです。胃がんも大腸がんも、早期がんの時にはなにも症状はありません！では、どうやって早期発見するか？それは、無症状でも定期的に検診を受けること、そして検診で異常が見つかったら必ず病院を受診して検査を受けることです。

胃がん検診はバリウムを飲んで撮影する方法と胃カメラを使う方法があります。
大腸がん検診は便潜血検査です。

40歳になったら毎年検診を受けましょう。

早期の胃がん・大腸がんは 胃カメラ・大腸カメラで治せます！

消化器内科医長 山崎 智朗

日本人になじみの深い「胃がん」。最近はヘリコバクターピロリ菌の感染率が下がってきてることもあり、少し減ってきていますが、まだまだがんのなかでは重要な位置を占めています。

また、「大腸がん」は日本だけでなく世界中で増加しています。

胃がんや大腸がんと言われたら誰でも暗い気持ちになりますが、ちょっと待ってください。その胃がんや大腸がんは内視鏡で治せるかもしれません。

今は早期の胃がんや大腸がんのうちリンパ節転移の可能性が低いものは、おなかを切らずに内視鏡での手術で治せるようになってきています。

通常はスネアと呼ばれる針金の輪を腫瘍にかけて、締め付けて電気を流して切除しますが、最近ではがんの部分を広範囲にはがす、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）が普及しており、より多くの早期胃がんや一部の広い大腸がんが内視鏡的に切除することが可能となりました。

内視鏡での治療は鎮静下で（時には全身麻酔）行われ、いわゆる一般的な手術と比較して術後は痛みもわずかで、早期に退院できます。もちろん早期発見が前提ですが、もし「早期胃がん・大腸がん」といわれた場合、当院では正確な範囲ならばにがんの深さ（進行度）を調べて、内視鏡的に切除ができるか消化器内科・外科で検討し、適切な治療を行ってます。

講演では早期胃がん・大腸がんの基本的な説明から、普段見ることのない具体的な内視鏡治療の動画を交えてお話しします。

患者さんに「優しい」、外科医にも 「易しい」胃がん・大腸がんの外科治療

消化器外科部長 前田 清

当センターでは消化器外科、消化器内科、肝胆脾外科、肝臓内科の4診療科が緊密に連携して、消化器センターとして様々な消化器がんの治療にあたっています。消化器がんの中でもとくに多いのは大腸がん、胃がんで、当センターは地域がん診療連携拠点病院にも指定されています。

消化器外科では腹腔鏡手術を早期から導入しており、全国有数の症例数を誇ります。2018年8月現在、胃・大腸の分野で日本内視鏡外科学会の技術認定医が6名在籍しており、2017年の1年間で胃は68%、大腸は90%の症例で鏡視下手術を行いました。

腹腔鏡手術は従来の開腹手術と比べると創が小さく、低侵襲で、患者さんの負担が軽減される

「患者さんに優しい手術」と言えます。一方で、腹腔鏡手術は高度な技術を要しますが、腹腔鏡の拡大視効果により、細かな血管や神経、解剖を認識でき、開腹手術に比べて、より精緻な手術が可能となります。とくに骨盤などの狭い場所の手術を行う場合は腹腔鏡手術の方が「外科医にとって易しい手術」と言えます。

さらに2017年からダヴィンチを用いたロボット手術も導入しています。ロボット手術では3Dカメラによる映像のもと、ロボットアームを用いた、より緻密な手術が可能となります。現在、胃がん、食道がん、直腸がんの患者さんにロボット手術を行っています。

「優しくて、易しい手術」を行うには“がんの早期発見”が第一ですが、進行した状態で発見されることもあります。そういった場合、手術前に抗癌剤治療や放射線療法を組み合わせた治療を行って、がんを縮小させることにより「易しい手術」を行える状態にすることもあります。

当センターでは消化器外科、内科の専門医だけでなく、腫瘍内科、放射線腫瘍科、緩和医療科の専門医も交え、患者さん各自の状態に応じた個別化治療を行っています。

MEMO